



## イチローの快拳 と 勝負の秋<sup>とき</sup>

8月22日にヤンキースのイチローが日米通算4000本安打を達成し、ニュースになりました。日本では9年間で1278本（年平均142本、打率0.353）、アメリカメジャーでは13年間で2722本（年平均209本、打率0.320）と、アメリカに渡ってから一層成長した点が素晴らしいと思います。（メジャー記録1位のピート＝ローズのように、日本での記録はマイナーレベルの扱いで、自分の記録には程遠いという人もいますが。）修行僧のような風貌のイチローはいつもコメントでも、なるほどと唸らせることを言っていますが、今回もそうでした。

イチローの会見での言葉を引用します。

(<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20130822-00000214-mlbjp-base> より)

4000本安打を打った感想を聞かれて、

「・・・こういう記録、2000とか3000とかあったんですけど、こういうときに思うのは、別にいい結果を生んできたことを誇れる自分では別にないんですよ。誇れることがあるとすると、**4000のヒットを打つには、僕の数字で言うと、8000回以上は悔しい思いをしてきているんですよ。それと常に、自分なりに向き合ってきたこと**の事実があるので、誇れるとしたらそこじゃないかと思いますね」

「・・・**記憶に残っているのは、上手くいったことではなくて、上手くいかなかったこと**なんですよ。その記憶が強く残るから、ストレスを抱えるわけですよ。・・・そのストレスを抱えた中で、瞬間的に喜びが訪れる、そしてはかなく消えていく・・・」

「これからも失敗をいっぱい重ねて行って、たまに上手く行ってという繰り返したと思うんですよ。何かを、バッティングとは何か、野球とは何か、ということをはほんの少しでも知ることが出来る瞬間というのは、きっと**上手く行かなかった時間とどう自分が対峙するか**によるものだと思うので、なかなか上手く行かないことと向き合うことはしんどいんですけど、これからもそれを続けていくことだと思います」

結果だけを見て、我々世間は、イチローは天才だとか色々褒めそやします。でも、イチロー自身は結果だけで自己評価していません。イチローでもスランプ、不調はあるわけで、その時にどう立ち向かうのか、それを一番意識していたのです。2回の凡打の失敗を1回の安打に活かすために、それこそ、ひたむきな研究、練習を重ねていたのでしょう。**結果におごらず、あるいは腐らず、自分の仕事をやり抜こうとする**、これがアマでなくプロの選手の自覚です。

みんなにとって、夏休みも終わり、高校生活である意味一番の勝負のときがやって来ました。すでに、AO入試を終えた人もいれば、まもなく始まる人もいます。3週間後には就職試験が始まります。大学の推薦試験の申し込みも始まります。準備の時間は決して多いとは言えないかもしれませんが。自分の思うような結果にならないかもしれません。その時、まさにイチローの言葉が生きているのではないのでしょうか。**誰のためでもなく、誰のせいでもなく、自分のことは自分で決めていくしかない、という覚悟**です。それはもちろん、決して楽なことではないでしょうが、逃げるできないものです。

イチローも

「・・・ただ、**その時点の自分でできることを、考えられることをやっておきたい**ということですね。・・・特によくない結果だったり、難しいゲームの後というのは、**気持ちを整理すること**はとても難しい状態にあることがあるので、いつも続けていることをまた続ける、・・・そこは頑張りを見せるところでしょうね。それは自分で続けてきたつもりです」

「自分は野球選手として、人間として成熟できてるかどうか、前に進んでいるのかどうか、ってことはいまだにわからないんですよ。そうでありたいということ、うーん、**信じてやり続けることしかできない**・・・」

そうです、自分を信じてやるだけです。**ひたむきさに裏付けられた自信**、これこそがこの秋のみんなに必要なものではないでしょうか。やるしかない！！

でも同時に、それは自分だけの独りよがり、わがままで終わってはなりません。自分を支えてくれる**周囲の人たちへの配慮**も忘れないで欲しいと思います。たとえば、自分の進路が決まったとしても、まだ頑張っているクラスメートがいれば、どんな気遣い出来るだろうか。何をして、何をしないことが思いやりになるのか、それを考えていく時期にもなってきます。

イチローも祝福してくれたヤンキーズの同僚たちに言っています。

「・・・あんな風にチームメイトやファンの人達が祝福してくれるとは、全く想像していなかったもので、その事ですね。それが深く刻まれましたし、**結局、4000という数字・・・記録が特別な瞬間を作るのではなくて、自分以外の人たちが特別な瞬間を作ってくれるもの**だというふうに強く思いました」

この秋は、みんなの大人一歩手前の人間力が試される時です。頑張りましょう。

# 学習合宿と夏季補習完了

7月30日～8月1日まで黒姫高原で、62人参加で学習合宿を行いました。夏休みの初めだったので、参加生徒はみんな意気込んで取り組んでいました。そのときの感想です。

ケータイが手元にないので、現実逃避せずにすんだ。数学を中心に勉強したが、残った時間が少ないことを実感させられた。

自分は勉強してきたつもりだったが、**まだ全然足りないことがわかった**。夏休みも1週間が過ぎようとしているので早めに取り組みたい。今回の合宿でだいたいのリズムが分かった。

初めてたくさん勉強して良かったと思う。**1日10時間勉強はやればできると知った**。大変だったけど、楽しかった。受験に向け1日1日頑張っ勉強していきたい。

スケジュール的に非常にハードだった。だが、同じ受験をする**仲間との合宿はとても刺激があつてよかった**。

だんだん90分ずつの学習時間になれていって、最初は辛かったが、最終的には90分間集中して取り組めた。講義もわかりやすかったので、よかった。今回の合宿を機にもう一度勉強の習慣を立て直したいと思った。



学習合宿に来るに当たって、1日10時間の勉強と聞いていたので、正直内心乗り気ではなかったが、終わってみれば思ったほど苦ではなかったように感じる。今回の経験を糧に、自分の進路を実現できるように頑張っていきたい。

あと一ヶ月の夏休みでこの合宿を通して学んだことや決意したことを実行する。

そして、**志望校に”絶対”合格する**。

今まで1日10時間も勉強したことがなく普通の受験生はこんなに大変なんだと感じた。続けていけるように頑張りたい！！

最初、90分は長いと思ったけれど、集中してできた。周りも静かに取り組んでいたから、自分もやらないといけなと思ってがんばれた。今回の合宿をいかして今後の受験勉強をがんばりたい。

3年生になってから受験勉強しなきゃ！！と気持ちだけがすごく焦って、実際何をしたいのか、何から手をつければよいか分からなかったが、この合宿を通じて大体のやることが分かっ

てよかった。帰宅後も、今のやる気を持続させるよう心がける。

時間がながくてきつかったが、今後の自習は長時間でも集中できるようになったと思う。寝る時間が短くてすごくねむかったが、このおかげで**精神的に強くなったと思うから、受験生としてもっと自分を追い込んでいこう**と思います。



今回の合宿で20時間勉強できたので、家に帰っても続けられるように頑張りたい。

**携帯やテレビがなくても生活できた！！**

今までできて1時間弱だった学習が、3日間で**1時間半は短く感じられるようになった**。学習と休憩のメリハリをつけると頭が上手く切りかえられて、集中できるようだ。おなかいっぱい。

参加する前は1日10時間なんてできそうにもないと思っていたが、実際取り組んでみたら、想像以上に早く時間が過ぎた。以後の夏休みも合宿のペースを守り、有意義に生活していきたい。

**こんなに英語の辞書を使ったのは久しぶりでした**。英語は苦手な長文読解のコツが習えて、現文は過去問ができて、とても自分のためになりました。この学習のように今後も頑張りたいです。

1万8千円、無駄にならぬよう、これからの夏休み受験勉強に取り組むたい。今回の合宿で満足しない。

**もっと食欲に勉強していく**。



各人納得の成果があったようですが、問題はその後です。家庭で勉強体制が持続できたでしょうか。夏季補習への取り組みは良かったでしょうか。多目的教室の自習時に注意を何度かしました。これでは元の木阿弥です。互いを刺激しあうピリピリした雰囲気も大事です。みんな仲良くとはいかないのが、進路です。

本日から通常補習もまた始まります。再度、引き締めていきましょう。

**指定校・公募推薦締め切り 9月2日**

**進路ガイダンス 9月11日**

**第3回保護者進路説明会 9月13日**